

JA農場による取組事例 [滋賀県甲賀市]

1. 地域農業の状況

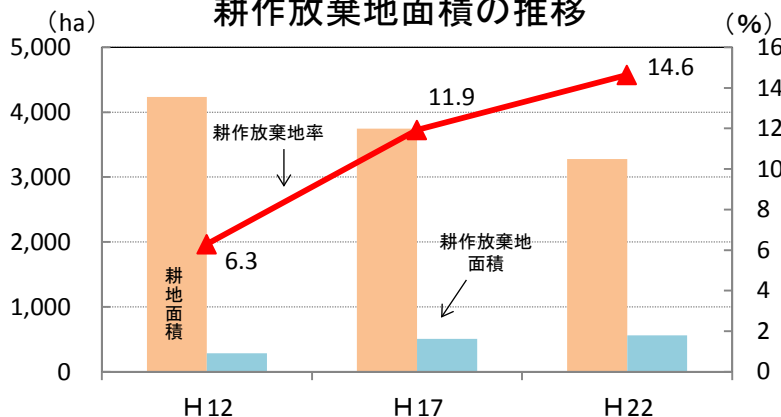
- 甲賀市は、滋賀県の南東部に位置し、鈴鹿山系に源を発する野洲川と、その支流である杣川が流れ、沿岸には肥沃な沖積平野が広がっている。

管内南西部の甲賀市信楽町は、唯一野洲川流域外にあり、標高300mの高原盆地を形成している。気候は太平洋型に属し、比較的温暖で、県下にあっては恵まれた環境にある。



- JAこうか管内の面積は、55,218ha(滋賀県面積の14%)であるが、耕作放棄地は山間地域を中心に657haあり、県内耕作放棄地のうち、42.1%を占めている。今後も農家の離農や鳥獣害による営農意欲の減退等による耕作放棄地の拡大が懸念されている。

耕作放棄地面積の推移



資料: 農林業センサス(農林水産省)

2. 耕作放棄地再生利用の取組

取組主体	JAこうか、新規就農者
再生面積	1.4ha
作付作物	たまねぎ

地区名	虫生野(むしゅうの)地区
取組年次	平成25年2月～
販路	JAに出荷

(1) JAによる再生、JA農場の設置

- 本地区は、開拓パイロット事業により造成された水田であるが、事業実施後半世紀余りが経過し、水利施設の老朽化や耕作者の高齢化及び担い手不足等により耕作放棄地となっていた。このことから、JAこうかでは、「地域農業振興計画」に基づき、JAと地域が連携して管内農業と地域社会の活性化を図るべく、その一手段として国の交付金により耕作放棄地を再生し「JA農場(モデル農場)」を設置した。

JA農場は、農地利用集積円滑化事業で受託した農地を、受け手に貸与するまでJAが管理耕作する。目的に合ったタイプの農場※¹(1ha以上)を各営農経済センター別に場長が管理する。なお、平成27年度は10haの作付を目標とし、販売高3,000万円を目指している。

※¹: ①研修実践農場(新規就農希望者の研修、並びに実証ほ場として活用)、②支援農場(既存生産者や新規就農希望者の生産拡大のため、JAが資材を無償提供するとともに、農作物の買取販売等を支援)、③体験農場(収穫体験)、④市民農園(市民農園として地域住民に貸し出し、自家消費と販売体験の場を提供)、⑤直営農場(重点農家やニューブランド野菜の生産拡大のため地元農家に依頼し、JAが直接運営管理)

(2) 新規就農者による就農

- その後、JAこうかから農場活用の打診を受けた新規就農者が、平成25年度秋より新たにこの農場をメインにして営農を本格的にスタートさせ、その後JAの支援を受けながら、タマネギ等の生産を行っている。



再生前



営農状況

活用した支援策

H24～25 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金(国)(再生作業、土壌改良)